

一月 帰郷

二月一三日〜十七日〔地主調査〕兵庫県水上郡鴨庄村。

二月二五日〜三月四日 東京

三月五日〜八日 秋田県余目

三月九日・一〇日 神奈川県足柄下郡吉浜町、一日 大野町

三月一五日 社団法人新自治協会中央理事となる。

〔新自治〕四・五月合併号 昭和二年四月一日発行 本部便り

四月 社団法人新自治協会嘱託就任、農村研究室主任となる。

〔自筆年譜及び「民俗学の旅」には四月とある。〕「宮本常一氏 五月上京して本会嘱託に就任、直ちに研究旅行に出張して、長野、岐阜、奈良、大阪、兵庫の各県に於ける地主調査を了え、六月中旬郷里に落着いて農事の傍ら記録の整理と農林省に提出する報告書の起草に当たって居られる。」「新自治」二年八月号「柳緑花紅」欄）〔新自治〕九月号には「理事・農村研究所主任」とあり、一〇月号には「農村研究所だより」欄があり「農村研究所は七月一四日に新しく発足した。その目的とする所は農村に於ける伝統的な生活を調査研究して、日本の村落が如何に構成せられ、また運営せられて来たかを見ようとするにある。・・・とある。〕

〔九州調査〕四月一日大島出発、二日〜三日久原、四日安徳、五日〜六日福岡県脇山、七日大島

四月一〇日 愛媛県越智郡久万村山路（丸木長雄）

〔九州調査〕四月一六日大島発、一七日〜二〇日福岡県早良郡脇山村（九州農士学校大川金作）、二一日〜二三日熊本県上益城郡甲佐町（丸木長雄）

〔中国地方調査〕四月二四日九州から鳥取へ、二五日浜村、二六日倉吉・浜村、二七日浜村、二八日兵庫県鴨庄、二九日前山

〔地主調査〕五月一日〜三日山梨県北都留郡桐原村尾続、一四日伊那市田、一五・一六日長野県下伊那郡松尾村伊賀良、一七・一八日上伊那郡赤穂町小鍛冶、一九日岐阜県加茂郡太田町、

〔地主調査〕五月二六日兵庫県水上郡国領村、二七日兵庫県水上郡吉見村、二八・二九日大阪府吹田市、

七月三〇・三一日 山梨県桐原

八月一・二日 日下部

〔地主調査〕

八月六日上野発福島草野着、六日〜八日福島県磐城郡草野村北神谷、八日磐城村（岩崎敏夫）、九日盛岡、一〇日盛岡（太田孝太郎）岩手紫波郡不動村、一一日矢巾、一二日青森県三戸郡平良崎村、一三・一四日青森県下北郡田名部町斗南丘、一五・一六日青森県南津軽郡六郷村、一七日秋田県矢島町、一八日鶴岡、一九日鶴岡松ヶ岡開墾場、二〇日〜二三日酒田・秋田、二四・二五日角館町・秋田、二六日〜二七日秋田県松木内村、二八日角館、二九・三〇日浅舞、

昭和21（一九四〇年）

社会の動き

46 男女平等の最初の総選挙  
日本国憲法公布

農水産業・工業

46 農林省、農地改革遂行のため、農地事務局を設置  
46 南水洋捕鯨と母船式捕鯨の再開

生活文化現象

46 日・国産DDT、シラミ退治  
46 日・進駐軍、ハンドバッグなど塩化ビニール製品持ち込む、呼称ナイロン  
46 電力危機、石炭大増産  
46 学校給食再開  
46 コレラ発生（復員コレラ）  
46 天然痘全国流行  
46 リンゴの歌（歌）  
\*戦後耐乏時代、軍需資材の応用品時代（ジュラ紀）  
\*米国・消費社会に突入  
\*日・塩化ビニール国産化、呼称ナイロン（風呂敷など）  
\*電熱器の時代  
\*木造賃貸住宅、一室一家住まいの床の間キッチン・出窓キッチン  
\*DDT